

# 2021 小規模多機能型居宅介護 サービス評価

## 【様式集】

### ◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

### ◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります。
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。  
わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- 当日は、記入頂いたチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。  
 事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に○を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5	1	0
2	自己評価を作成する際、常勤スタッフの意見が反映されて実施していることが確認できましたか？	6	0	0
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	5	0	1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4	0	2

- 以下のB～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に○を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？	6	0	0
	<b>【前回の改善計画】</b> 1. 必要な感染対策や物品・機材を計画的に購入する他、職員の業務の負担の削減に取り組む。 2. ご利用者に良いサービスが提供できるようにゆとりの持てる環境を整える。			
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	5	1	0
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	6	0	0
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	4	0	0

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に○を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	<b>【前回の改善計画】</b> 1. 施設周辺で出会った方や、来所された方全員に声かけを心がける。 2. 参加が可能な地域の交流イベントに協力をしていく。	3	0	3
1	職員はあいさつできていますか？	6	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	1	0	5
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	2	0	4
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	0	6

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に○を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	<b>【前回の改善計画】</b> 1. 感染予防に努めてご利用者が外出できる機会を多く作る。 2. 広報誌、チラシを引き続き近隣施設に配布し、地域の窓口となれるよう広報活動を行う。 3. 関係機関と協力し、今生活に困っている方の情報網を広げ、支援する。	4	0	2
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5	0	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	1	0	5
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	2	4
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	0	0	6

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に○を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	<b>【前回の改善計画】</b> 1. 運営推進会議の中で事業所の活動や改善進捗等の報告・説明を行い、委員との交流を深め、地域で支える仕組み作りに貢献する。 2. オンラインによる現場職員の会議参加や活動がわかりやすい報告を目指す。	4	0	2
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4	0	2
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	0	1	5
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	0	0	6
4	運営推進会議で出した意見を、改善につなげていますか？	4	0	2

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に○を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	<b>【前回の改善計画】</b> 1. 利用者の生命を守る事を最優先に新型コロナウイルスの感染予防対策を充分に行う。 2. 災害対策、計画の内容を、木曜会や広報誌・SNS上において広報を行い信頼される施設を目指す。	6	0	0
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	2	3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1	1	4
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	2	4	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	6	0	0

以上で終了です。ありがとうございました。

外部評価 地域かかわりシート② (結果まとめ様式)

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5	1	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	6	0	0
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	5	0	1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4	0	2

【上記4つのチェック項目に関する意見】後日意見提出あり。  
 ※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見  
 改善項目が評価しやすくできているかなと言われるとどうか？  
 進行役：職員の評価は「できていない」が多い項目も見受けられました。  
 ご承知のとおり、現在特殊な状況下であり、地域との交流に関する事は  
 現場職員としては肌で感じられていないのが影響していると思われま  
 す。反面、利用者へ直結する支援項目は高い評価が目立ちます。

【前回の改善計画に対する意見】  
 1.利用者情報の重要な部分は、写真添付や蛍光ペンを活用など見やすい工夫を行う。  
 2.支援計画の見直しは可能な限り短時間会議を行い、現状を反映する意識をもつ。  
 3.会議や苦情内容は、書面をコピーして回覧・毎日の申し送りで確認を行い、職員へきち  
 んと伝える。  
 4.研修資料は、保管場所がわかるように工夫する。  
 5.地域資源研修は、自治体で開催がない場合は法人で開催を行う。  
 →進行役より：ただいま配布した資料は、毎月別の会議で提出している改善項目の進捗  
 状況です。半年かけてほとんどの項目において改善を図っています。  
 事業所自己評価に関しましては、以前に配布させて頂き、確認して頂いたとおりです。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】  
 ※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見  
 →進行役より：包括支援センター職員さんより、一部具体的になっていないのでは？とい  
 う意見もお聞きしています。1～9項目の次年度改善計画も立てていますが、本日の会議意  
 見など参考にして、次回の運営会議でご報告させて頂く予定ですのでご承知ください。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

【改善計画】  
 ① IT 機器を使用し、情報共有や会議、研修の参加に活用する。  
 ② 個々の利用者支援は、柔軟にできているので、支援の記録化（文章）を増やす。  
 ③ 包括支援センターの協力を仰ぎ、一緒に相談毎の支援を行う。（地域との関わりとして）  
 ④ ③の内容を1つずつ文書化し、職員に周知、運営会議で報告する。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	0
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	5	1	0
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	6	0	0
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	6	0	0

<p><b>【上記5つのチェック項目に関する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画、写真を拝見して、おいしい食事を提供されている事、また以前家族が利用させてもらっていたが、連絡ノートも丁寧に感想や連絡事項が記入されているなど感じた。</li> </ul>
<p><b>【前回の改善計画に対する意見】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>必要な感染対策や物品・機材を計画的に購入する他、職員の業務の負担の削減に取り組む。 →事務職員による介護業務の補助、除雪や除草作業その他総務などは現場職員がしなくてすむように施設長、本部で行っている。</li> <li>ご利用者に良いサービスが提供できるようにゆとりの持てる環境を整える。 →職員の休憩時間確保に向けた業務の見直しで、休憩がしっかりとれるように改善。 サポートハウスに関しては、利用者も多いことから最優先で人員確保している。 ・本部も協力し、サービス提供に専念できるよう環境整備に取り組んでいることがわかりました。</li> </ol>
<p><b>【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よく知っている人はわかるが、初めての人は戸惑う事があるという声を聞いた。</li> <li>・動画を拝見し、ゆったりすごされている雰囲気だなと感じた。</li> </ul>
<p><b>【今回の改善計画】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>より良いサービス提供を行うため、「職員がゆとりの持てる環境」を整え、コロナ禍に対応した業務負担の軽減や人員の確保を行う。</li> </ol>

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	0	3
1	職員はあいさつできていますか？	6	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	1	0	5
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	2	0	4
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	0	6

【上記5つのチェック項目に関する意見】

コロナ禍で交流場面がほぼないという特殊な状況では難しいと思います。

広めるとい活動もしにくいでしょう。

「知らないなあ」という地域の人声も聞きます。

【前回の改善計画に対する意見】

1. 施設周辺で出会った方や、来所された方全員に声かけを心がける。  
→あいさつはきちんとするように周知できていると思います。昨年よりも来客に対して声をかけているように感じます。
2. 参加が可能な地域の交流イベントに協力をしていく。  
→コロナ禍が収まればどんどん地域と関わりたいという意識はあります。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】後日意見提出あり。

- ・広報活動も困難ですが、必要なときには関係者の所へ詳しい説明に足を運んでくださったり、事業所の体験利用の機会を用意してくれるのはとてもよいと感じています。
- ・木曜会の際に報告する相談内容や件数などをまとめて整理し、審査の際に報告するのもよいと思います。
- ・事業所の側からもご利用者を守るため、地域交流を控えている部分もあります。コロナ禍で機会がないという事に尽きます。

【改善計画】

- ① 参加が可能な地域の交流イベントに協力をしていく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	2
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5	0	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	1	0	5
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	2	4
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	0	0	6

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・わからないという意見が多くなっています。
- ・利用者が外出できるようにできる活動をされているのはわかります。外での姿をよくみかけます。

【前回の改善計画】後日意見提出あり。

1. 感染予防に努めてご利用者が外出できる機会を多く作る。  
→運営報告をしてきましたが散策やドライブなど年間通じて意識して心がけてきました。
2. 広報誌、チラシを引き続き近隣施設に配布し、地域の窓口となれるよう広報活動を行う。  
→成徳・上灘公民館に広報誌を毎回10部ずつ、宮川町にも公民館長さんを通じて配布はしています。
3. 関係機関と協力し、今生活に困っている方の情報網を広げ、支援する。  
→事業所自己評価の結果より、外部との交流で関わっている職員の人数が少ないと感じました。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・「地域の方を交えた会議」が何をさすのか具体的にわかりますか？  
→具体的にはわかりませんが、ご利用者の居住地域の方や関係者などが関わる会と思われまので、担当者会議やケア会議、この木曜会が該当するかと思います。
- ・利用者以外の支援が難しい状況です。オンラインでの会議が増えているように社会全体が、フェイス to フェイスからウイルスが広がらない環境を目指しています。「地域に出向いて暮らしを支える」というテーマが、直接には出向けてないと素直に感じている職員の評価と乖離があります。(福祉サービスの提供自体が地域に出向いている事そのものですが)

【改善計画】

- ① 広報誌の配布先を増やし、地域の窓口となれるように、健推会を宣伝する。



E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	2
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4	0	2
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	0	1	5
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	0	0	6
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4	0	2

<p><b>【上記5つのチェック項目に関する意見】</b>            地域との交流から情報収集していた事ができず、地域の困りごとなどの把握が難しくなっていると思います。            推進会議で出た質問には、次の会議で説明されていてよくわかりました。</p>
<p><b>【前回の改善計画】</b>            1. 運営推進会議の中で事業所の活動や改善進捗等の報告・説明を行い、委員との交流を深め、地域で支える仕組み作りに貢献する。            →コロナ禍で難しい中、資料など理解しやすい工夫がされています。            2. オンラインによる現場職員の会議参加や活動がわかりやすい報告を目指す。            →本日のサービス審査にも運用したように、タブレットを活用した動画で、実際のサービス提供を見て頂けるように工夫しています。この会議室と接続する機器をネット接続環境を準備中です。</p>
<p><b>【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】</b>            ・運営推進会議の舵取りが難しくなっています。書面での開催は、わかりやすくできています。今後に期待します。            ・コロナワクチンの予約をとりにくいお年寄りが多いのでお手伝いがあったらと思ったが、実際はなかなかです。</p>
<p><b>【改善計画】</b>            ① 地域包括支援センターの協力を頂き、地域の取組みについて一緒に関わる機会を作り、運営推進会議で報告を行う。</p>

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	0
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	2	3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1	1	4
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	2	4	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	6	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

実際に地域との合同訓練には2年連続参加できていません。  
宮川町の防災会議など参加できたらよいのですが。

【前回の改善計画】

1. 利用者の生命を守る事を最優先に新型コロナウイルスの感染予防対策を充分に行う。
  2. 災害対策、計画の内容を、木曜会や広報誌・SNS上において広報を行い信頼される施設を目指す。
- 現在は感染予防で現状維持が精一杯です。  
広報誌配布やツイッター更新し、広報活動は地味に行っています。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】後日意見提出あり。

台風や大雨のとき、大雪の時など、この会議で報告されますが、早い声かけで早い対応されてるなどいつも思います。  
悪天候の時に宿泊を促したり、訪問したり一人で住んでいる利用者はとても心強いのでは。頼りにされていると思います。

【改善計画】

- ① 利用者を守るためにも、状況に合わせて臨機応変に新型コロナウイルスの感染予防対応を行う。
- ② 災害対策、計画の内容を、木曜会や広報誌・SNS上において広報を行う。

令和3年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 健推会	代表者	清水 文子	法人・ 事業所 の特徴	当法人は平成17年3月設立し、現在グループホーム2施設、小規模多機能型居宅介護1施設、介護老人福祉施設1施設、通所介護1施設を運営している。地域サポートハウスしみずでは通い・訪問・宿泊の3つのサービスを組み合わせて自立生活を支援している。独自サービスとして理学療法士による個別リハビリを行い、住み慣れた地域で暮らすための能力を維持していくための支援に力を入れている。
事業所名	地域サポートハウス しみず	管理者	藤村 寿幸		

出席者	市町村職員	知見を有する者	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	法人役員	合計
	1人	0人	2人	2人(当日欠席2名)	0人	1人	0人	4人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ol style="list-style-type: none"> <li>利用者情報の重要な部分は、写真添付や蛍光ペンを活用など見やすい工夫を行う。</li> <li>支援計画の見直しは可能な限り短時間会議を行い、現状を反映する意識をもつ。</li> <li>会議や苦情内容は、書面をコピーして回覧・毎日の申し送りで確認を行い、職員へきちんと伝える。</li> <li>研修資料は、保管場所がわかるように工夫する。</li> <li>地域資源研修は、自治体で開催がない場合は法人で開催を行う。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>半年かけて左記の項目において改善を行って、サービスの向上につながったと思います。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>写真添付や理解しやすい工夫ができています。</li> <li>支援計画の更新、情報共有環境は良くなった。利用者が増加し、量的な時間の限界もある。</li> <li>報告書や会議録の回覧状況は向上している。</li> <li>保管場所の周知ができています。</li> <li>研修機会は作ったが、コロナ禍で書類での自己学習となり、理解は浅い面がある。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善項目が具体的になっていない、評価しにくいのでは？</li> </ul> という意見が委員、職員からもあり、本日の会議意見など参考にして理解しやすい改善計画となるように再度検討します。	<ol style="list-style-type: none"> <li>IT 機器を使用し、情報共有や会議、研修の参加に活用する。</li> <li>個々の利用者支援は、柔軟にできているので、支援の記録化（文章）を増やす。</li> <li>包括支援センターの協力を仰ぎ、一緒に相談毎の支援を行う。（地域との関わりとして）</li> <li>上記3の内容を1つずつ文書化し、職員に周知、運営会議で報告する。</li> </ol>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ol style="list-style-type: none"> <li>必要な感染対策や物品・機材を計画的に購入する他、職員の業務の負担の削減に取り組む。</li> <li>ご利用者に良いサービスが提供できるようにゆとりの持てる環境を整える。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>事務職員による介護業務の補助、除雪や除草作業その他総務などは現場職員がしなくてすむように施設長、本部で行っている。</li> <li>職員の休憩時間確保に向けた業務の見直しで、休憩がしっかりとれるように改善。サポートハウスに関しては、利用者も多いことから最優先で人員確保している。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本部も協力し、サービス提供に専念できるよう環境整備に取り組んでいることがわかりました。</li> <li>動画を拝見し、ゆったりすごされている雰囲気だなと感じた。</li> <li>よく知っている人はわかるが、健推会が初めての人は戸惑う事があるという声を聞いた。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>より良いサービス提供を行うため、「職員がゆとりの持てる環境」を整え、コロナ禍に対応した業務負担の軽減や人員の確保を行う。</li> </ol>

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
C. 事業所と地域のかかわり	<ol style="list-style-type: none"> <li>施設周辺で出会った方や来所された方全員に、声かけを心がける。</li> <li>参加が可能な地域の交流イベントに協力をしていく。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>あいさつはきちんとするように周知できていると思います。昨年よりも来客に対して声をかけているように感じます。</li> <li>コロナ禍が収まればどんどん地域と関わりたいという意識はあります。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動も困難ですが、必要などときには関係者の所へ詳しい説明に足を運んでくださったり、事業所の体験利用の機会を用意してくれるのはとてもよいと感じています。</li> <li>・木曜会の際に報告する相談内容や件数などをまとめて整理し、審査の際に報告するのによいと思います。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>参加が可能な地域の交流イベントに協力をしていく。</li> </ol>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ol style="list-style-type: none"> <li>感染予防に努めてご利用者が外出できる機会を多く作る。</li> <li>広報誌、チラシを引き続き近隣施設に配布し、地域の窓口となれるよう広報活動を行う。</li> <li>関係機関と協力し、今生活に困っている方の情報網を広げ支援する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>散策やドライブなど年間通じて意識して心がけてきました。</li> <li>成徳・上灘公民館に広報誌を毎回十部ずつ、宮川町にも公民館長さんを通じて配布はしています。</li> <li>事業所自己評価の結果より、外部との交流で関わっている職員の人数が少ないと感じました。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域の方を交えた会議」が何をさすのか具体的にわかりますか？</li> <li>・「地域に出向いて暮らしを支える」というテーマが、直接には出向けてないと素直に感じている職員の評価と乖離があります。</li> <li>・利用者以外の支援が難しい状況です。社会全体が、ウイルスが広がらない環境を目指しています。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>広報誌の配布先を増やし、今後地域の窓口となれるように、健推会を広報する。</li> </ol>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ol style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議の中で事業所の活動や改善進捗等の報告・説明を行い、委員との交流を深め、地域で支える仕組み作りに貢献する。</li> <li>オンラインによる現場職員の会議参加や活動がわかりやすい報告を目指す。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で難しい中、資料など理解しやすい工夫がされています。</li> <li>タブレットを活用した動画で、審査での視察代案として、実際のサービス提供を見て頂けるように工夫を凝らしています。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の舵取りが難しくなっています。書面での開催は、わかりやすくできています。今後に期待します。</li> <li>・コロナワクチンの予約を取りにくいお年寄りが多いのでお手伝いできたらと思ったが、実際はなかなか難しいです。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターの協力を頂き、地域の取り組みについて一緒に関わる機会を作り、運営推進会議で報告を行う。</li> </ol>
F. 事業所の防災・災害対策	<ol style="list-style-type: none"> <li>利用者の生命を守る事を最優先に新型コロナウイルスの感染予防対策を充分に行う。</li> <li>災害対策、計画の内容を、木曜会や広報誌・SNS上において広報を行い信頼される施設を目指す。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>現在は感染予防で現状維持が精一杯です。</li> <li>広報誌配布やツイッター更新し、広報活動は地味に行っています。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風や大雨、大雪の時など、この会議で報告されますが、早い声かけで早い対応されてるなどいつも思います。</li> <li>・悪天候の時に宿泊を促したり、訪問したり一人で住んでいる利用者はとても心強いのでは。頼りにされていると思います。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>利用者を守るためにも、状況に合わせて臨機応変に新型コロナウイルスの感染予防対応を行う。</li> <li>災害対策、計画の内容を、木曜会や広報誌・SNS上において広報を行う。</li> </ol>